

令和4年度 林業成長産業化構想技術者育成研修(ICT研修)

開催日時 令和4年11月8日(火)～11月11日(金)

研修会場 四国森林管理局(高知県高知市)

現地実習 喜代須山3090林班外(高岡郡中土佐町)

受講者 県職員7名、森林管理局職員3名、民間事業者1名

・1日目は、四国森林管理局武田森林整備部長の開講の挨拶、オリエンテーションに続き、林野庁吉岡課長補佐による演習の目的等の説明、四国森林管理局サポート等から演習地等の説明がされた。その後、森林資源把握・路網配置計画演習を実施、演習内後半には班ごとに翌日のドローンによる飛行ルートを含めた検討も行った。続いて、大谷講師による地域特性に応じた森づくり構想の講義が行われた。

・2日目午前は、橋ヶ谷林道から班ごとにドローン操作による遠望を実施した(各班1回づつ飛行)。演習後、森づくり検討実習地へ移動しヒノキ造林地内において班ごとに3箇所に分かれて目測によるプロット調査を行い、調査結果や目標林型等について発表及び質疑応答を行った。佐藤委員と大谷講師から発表内容に関連した林床植生やシカによる食害等の解説などのコメント後、国有林と隣接する四万十町側の私有林を見渡すエリアへ移動、森林の現況に加え急峻な山林から台地への地形変化を併せて目視確認した。現地で確認・収集した情報について整理、まとめを行った。

・3日目は終日、林業成長産業化構想演習に取り組んだ。演習の流れに沿って、QGISやFRDを使用した路網整備演習、KJ法等による検討及び協議を行い、プレゼン資料完成については予定時間を超過した班があったものの最終目標の18時までに全班終了した。

・4日目は、班ごとにプレゼン発表を実施。班ごとに発表、質問、フィードバックシート記入の役割分担を行い、発表班以外の受講生や関係者からの質問に対してディスカッションを行った。3班それぞれバラエティに富んだプレゼン内容であり、各班独自の検討、協議を十分行って案を導き出したことが確認できた。発表後、佐藤委員、林野庁松山対策官の講評に続いて、受講生一人ずつが感想等を述べ、松山対策官の閉講挨拶で全研修日程を終了した。

・受講生の検討結果やコメント等から、今後の実務に活用されていく期待を感じられる研修となった。

【研修の様子】(1日目)



開校式の様子



森林資源・路網配置演習の様子

【研修の様子】(2日目)



UAV操作、演習地遠望の様子



森づくり検討発表

【研修の様子】(3～4日目)



KJ法を活用した構想作成



各班による構想発表